社業の発展を通じ社会に貢献する

2021年3月期 第２四半期
決算説明資料

変革と挑戦　強く価値ある会社へ

西華産業株式会社（東証1部 証券コード8061）

Contents

01
2021年3月期
第２四半期
連結決算概要

02
2021年3月期
連結業績予想

03
中期経営計画
Re-SEIKA 2023

04
トピックス

05
参考資料

01

2021年3月期 第２四半期 連結決算概要

2021年3月期 第２四半期 連結決算概要

	2020年3月期 ２Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	前年同期 増減率
売上高	62,651 百万円	70,935 百万円	↗ +13.2 %
営業利益	860 百万円	953 百万円	↗ +10.9 %
経常利益	986 百万円	1,098 百万円	↗ +11.3 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	471 百万円	530 百万円	↗ +12.7 %
受注高	75,095 百万円	63,411 百万円	↘ △15.6 %
受注残高	—	133,073 百万円	—

主な増収増益の要因

▶社会インフラを担う電力事業の大口案件の売上増が寄与
▶一般産業向けに機械販売を展開する産業機械事業が収益面で寄与
▶一部業績不振の海外子会社があったものの、子会社全体の業績は堅調に推移し、連結決算に寄与

▶受注高は、マスク製造装置や飛沫分析装置の受注など新型コロナウイルス感染症予防対策関連の受注があったものの、既存顧客設備向け定期検査工事の延期や設備投資計画が中止されるなどの影響を受け受注減

セグメントの変更について

当社は、2021年3月期から以下の通りセグメントを変更いたしました。

2020年3月期		2021年3月期
電力事業		電力事業
化学・エネルギー事業		化学・エネルギー事業
産業機械事業	統合	産業機械事業
素材・計測事業		
グローバル事業		グローバル事業

セグメント利益算出方法の変更

セグメント利益の合計額と差異調整項目であった「全社費用、のれんの償却額」を各セグメントに合理的な基準に従って配分

➡ **セグメント利益の合計額 ≒ 営業利益**

セグメント別事業概要（売上高）

	売上高		主な増減要因
	2021年3月期 2Q累計実績	前年同期 増減率	
電力事業	31,263 百万円	↗ +47.4 %	電力会社向け発電設備更新工事等の大口案件の受渡が増加したことにより増収
化学・エネルギー事業	12,396 百万円	↘ △17.1 %	一般産業向け発電設備の受渡が減少したことにより減収
産業機械事業	21,810 百万円	→ +3.8 %	国内合繊、プラント向け産業機械販売および日本ダイヤバルブ株式会社の業績が堅調に推移したことにより増収
グローバル事業	5,463 百万円	→ △0.3 %	Tsurumi (Europe)GmbH グループの公共工事用水中ポンプ販売をはじめ、米国および東南アジア各国子会社の業績が堅調に推移したことにより前年並み
合計	70,935 百万円	↗ +13.2 %	

セグメント別事業概要（セグメント利益）

	セグメント利益		主な増減要因
	2021年3月期 2Q累計実績	前年同期 増減率	
電力事業	452 百万円	↘ △37.4 %	火力発電設備および原子力発電設備の中・小口案件の減少により減益
化学・エネルギー事業	44 百万円	↘ △39.6 %	舶用エンジンを取り扱う敷島機器株式会社の収益が拡大しましたが、当社の一部の取引において追加工事の負担が生じたことなどにより減益
産業機械事業	600 百万円	↗ +386.8 %	西華デジタルイメージ株式会社の業績改善および半導体製造会社向け配電設備工事の大口商談により増益
グローバル事業	△117 百万円	↘ 前年同期 セグメント利益 △84百万円	プリント基板製造販売のSeika YKC Circuit (Thailand)Co., Ltd.および西曄貿易（上海）有限公司の業績低迷により減益
合計	979 百万円	↗ +17.3 %	

02

2021年3月期 連結業績予想

2021年3月期 連結業績予想

	2020年3月期 実績	2021年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 通期予想	増減率 （前期比）
売上高	1,406 億円	709 億円	1,350 億円	△4.0 %
営業利益	28.0 億円	9.5 億円	24.0 億円	△14.6 %
経常利益	31.2 億円	10.9 億円	27.0 億円	△13.5 %
親会社株主に帰属する 当期(四半期) 純利益	△12.6 億円	5.3 億円	16.5 億円	前期 当期純利益 △12.6億円

（※）連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響）
今後の業績は、社会インフラ分野である電力事業への影響は軽微であるものの、その他の事業においては一部顧客における工場稼働率低下や設備投資計画の延期などにより影響を受ける可能性があります。

2021年3月期 連結業績予想（セグメント別）

電力事業	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額（前期比）	増減率（前期比）
売上高	399 億円	500 億円	101 億円	25.3 %
セグメント利益	14.1 億円	13.0 億円	△1.1 億円	△7.8 %

（※）2020年3月期のセグメント利益については2021年3月期からの算出方法により計算しています。

事業内容

・事業用火力発電所向けボイラー、ガスタービンなどの発電設備、環境保全設備の販売およびアフターサービス
・原子力発電所向け防災・セキュリティ関連設備および各種機器の販売
・再生可能エネルギー（小型水力、風力、バイオマス等）向け発電設備の販売およびアフターサービス

火力発電プラント

2021年3月期見通し

上期の火力発電所向け発電設備更新等の大口案件の受渡に加え、
下期には原子力発電所向け防災・セキュリティ関連設備の受渡を見込み
売上高は500億円、セグメント利益は13億円を予想

再生可能エネルギー

2021年3月期 連結業績予想（セグメント別）

化学・エネルギー事業	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額（前期比）	増減率（前期比）
売上高	429 億円	300 億円	△129 億円	△30.1 %
セグメント利益	5.1 億円	2.0 億円	△3.1 億円	△60.8 %

（※）2020年3月期のセグメント利益については2021年3月期からの算出方法により計算しています。

事業内容

・石油精製、化学、製紙、製鉄等の事業会社向け発電設備、環境負荷低減商材の販売およびアフターサービス
・バイオマス発電向け設備および燃料の販売
・舶用エンジンの販売およびメンテナンス（セイカダイヤエンジン株式会社、敷島機器株式会社）

化学プラント

2021年3月期見通し

下期に化学事業、エネルギー事業会社向け発電設備の受渡に加え
舶用エンジンを販売する敷島機器株式会社の業績が堅調に推移することで
売上高は300億円、セグメント利益は2億円を予想

バイオマス発電設備向燃料

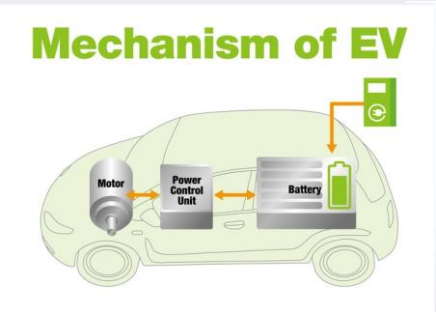
2021年3月期 連結業績予想（セグメント別）

産業機械事業	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額（前期比）	増減率（前期比）
売上高	463 億円	450 億円	△13 億円	△2.8 %
セグメント利益	10.3 億円	11.0 億円	0.7 億円	6.8 %

（※）2020年3月期のセグメント利益については2021年3月期からの算出方法により計算しています。

事業内容

・EV関連、新素材、繊維、フィルム、飲料などの
　産業分野向け製造設備の販売
・プラント・エンジニアリング会社向け機械設備の販売
・産業機械向け環境保全用計測装置の販売
・各種産業用バルブの製造・販売
（日本ダイヤバルブ株式会社）



リチウムイオン電池製造ライン等EV関連設備

2021年3月期見通し

上期の国内合繊・プラント向け産業機械や半導体製造会社向け大口商談に加え、下期にはEV関連商談の受渡や日本ダイヤバルブ株式会社の収益が業績へ寄与することを見込み、売上高450億円、セグメント利益は11億円を予想

日本ダイヤバルブ ダイヤフラムバルブ

2021年3月期 連結業績予想（セグメント別）

グローバル事業	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額（前期比）	増減率（前期比）
売上高	114 億円	100 億円	△14 億円	△12.3 %
セグメント利益	△1.9 億円	△2.0 億円	△0.1 億円	— %

（※）2020年3月期のセグメント利益については2021年3月期からの算出方法により計算しています。

事業内容

・欧州）　自動車分野：車載関係の産業用ロボット販売
　　社会インフラ分野：公共工事用水中ポンプの販売および
　　レンタル事業の展開
・北米）　自動車分野：主に自動車部品業界向けにエレクトロニクス
　　基板実装関連機器の販売
・アジア）産業機械分野：主に自動車、化学、繊維業界向けに
　　機械設備の販売

Seika Machinery, Inc.
自動車部品業界向けの基板実装関連設備

Seika Sangyo (Thailand) Co.,Ltd.
自動車・化学・繊維業界向け産業用機械

2021年3月期見通し

Tsurumi (Europe)GmbH グループをはじめ業績が堅調に推移する子会社はあるものの、Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.や西曄貿易（上海）有限公司の業績不振により、売上高は100億円、セグメント利益は△２億円を予想

Tsurumi (Europe) GmbHグループ
水中ポンプ

03

中期経営計画 Re-SEIKA 2023

変革と挑戦　強く価値ある会社へ

2020年4月~2023年3月

グループポリシー

当社グループとしての結束力やグループ経営を推進していくため、「西華産業グループポリシー」、「グループ行動規範」、「グループミッション」を定め、当社グループに属する各社および、そこで働く社員一人ひとりがこれらを共有し、日々の行動に繋げ、グループ全体で企業価値の向上を目指していきます。

グループポリシー Group Policy

私たち西華産業グループは、お互いが連携し、高め合い、
公明正大な企業活動を通じて持続可能な社会の発展に貢献します。

Strive for excellence and foster a sustainable society with corporate integrity.

グループ行動規範 Code of Conduct

一人ひとりが法令を遵守すると共に
社会から信頼されるよう倫理観を持って行動します。

Comply with laws and act with ethical standards to gain the trust of society.

グループミッション Group Mission

グループ全体で豊かな社会を実現します。

Create a fulfilling society together.

中期経営計画 Re-SEIKA 2023 基本方針

2020年4月~2023年3月

Re-SEIKA 2023（98期~100期）

変革と挑戦　強く価値ある会社へ

Re-SEIKA 2023 基本方針

本中期経営計画 Re-SEIKA 2023は

- 今までの考え方や行動を変え（改革）
- あらゆる困難に何度でも挑戦しながら（再挑戦）
- 持続的な成長サイクルを構築し（回復）

更なる企業価値の向上を実現する新たなステージ（再出発）とする。

改革
Re-formation

再挑戦
Re-challenge

回復
Re-gain

再出発
Re-start

中期経営計画 Re-SEIKA 2023 基本戦略

Re-SEIKA 2023 変革と挑戦 強く価値ある会社へ

1 グループ収益の拡大

西華産業単体の各事業とグループ各社を事業内容毎に「事業ユニット」としてグルーピングし、一体化した事業運営を図る。

2 収益基盤の強化

各事業を基礎収益分野と成長収益分野とに区分する。事業ポートフォリオの最適化を進め、経営資源の効率的な投入を適宜実施、推進する。

3 新たな収益源の開拓

新たな収益源の開拓のため継続的に経営資源を投入する。
そして、当社グループの持続的な成長基盤構築を促進する。

4 経営基盤の強化

財務体質の安定化を図る。IT化・DX推進等による業務の効率化、職場環境の充実、人財育成などにより、組織力を強化する。

中期経営計画 Re-SEIKA 2023におけるプロジェクト

中期経営計画 において、当社グループ内での知見やリソースを有効活用し、新規ビジネスモデルの構築を目指す目的で３つの新規事業開発プロジェクトを立ち上げました。

1．再生可能エネルギー プロジェクト

当社は従来より火力発電所を中心とした電力事業を推進してまいりましたが、世界的な脱炭素の流れをうけ変わりゆく電力供給のあり方を踏まえ、新たな収益源（事業）を構築するために、本プロジェクトを立ち上げました。

具体的には、自然エネルギーの不安定さを水素や蓄電池に置換しエネルギーを貯留するシステムなど安定電源供給システムの販売を推進してまいります。

また、地域における電力供給について小型水力発電や間伐材を利用したバイオマス発電等をベースに地域マイクログリッドの構築にも取り組んでいます。

中期経営計画 Re-SEIKA 2023におけるプロジェクト

2．ライフサイエンス プロジェクト

少子高齢化社会が到来している中「よりよく生きる・食べる・暮らす」がキーであるライフサイエンス分野に着目し、本プロジェクトを立ち上げました。
当社は医薬品製造設備において世界有数の技術を有する独メーカーとの協業を進めており、さらに子会社である日本ダイヤバルブ株式会社の医薬品分野向け販路を活用することで、成長が見込まれる医薬品市場の深耕に取り組んでいます。

3．モビリティ プロジェクト

オートモーティブ、第５世代移動通信システム、燃料電池、水素関連製品といったモビリティ関連インフラ事業向け商材開拓を目的とし、本プロジェクトを立ち上げました。技術動向や市場の成長性の観点から具体的な商材選別を行い、早期の事業化を目指します。

中期経営計画 Re-SEIKA 2023におけるプロジェクト

収益拡大を目的とした３つの営業プロジェクトに加え、西華産業グループの企業価値向上のために、次のプロジェクトに取り組んでいます。

１．人財活用プロジェクト

当社グループ全体での人財活用を推進するために、グループ内人事交流の仕組み作りをはじめ、社内研修の共有化や担当者レベルでの実務情報交換会の実施など、グループの「人財力アップ」のための諸施策を企画・検討しています。

２．社会貢献活動プロジェクト

これまでに当社グループ各社では、国内外の災害復興支援、地域への貢献活動に加え、難病児の夢の実現とその家族の楽しい思い出づくりを支援する公益社団法人「ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO」への活動支援に取り組んでまいりました。
今後は当社グループ全体で社会貢献活動をプロジェクト化し、引き続き豊かな社会の実現に努めてまいります。

04

トピックス

トピックス①

セイカダイヤエンジン株式会社を設立

2020年10月1日付で三菱重工エンジン＆ターボチャージャ株式会社（MHIET）からMHIETの100%子会社である三菱重工エンジンシステム株式会社の国内舶用エンジン販売・サービス事業の譲渡契約に基づき株式を取得し、セイカダイヤエンジン株式会社（SDE）を設立しました。

▶SDE設立による事業拡大

✔既存事業の拡大

当社は、2016年にMHIETの北海道総代理店である敷島機器株式会社を子会社化しています。同社に加え、国内25拠点を有するSDEが加わることで全国展開による舶用エンジン販売・サービス事業の拡大を見込んでいます。

✔新たな分野への進出

洋上風力発電設備用の作業船など商工船向けエンジンや大型船の補助エンジン等の新たな分野への進出を図ってまいります。

トピックス②

タイのプリント基板製造販売の Seika YKC Circuit (Thailand)Co., Ltdの株式譲渡

Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd（SYC）については、9月10日の取締役会で事業を休止することを決定し、今後の方向性について検討してまいりました。

事業再建には更なる投資と時間を要することから、同事業から撤退することとし、同社資産を活かすことが出来る相手先に株式譲渡することを決定しました。

株式譲渡の日程

（1）当社取締役会決議　2020 年 10 月 13 日
（2）株式譲渡契約締結日 2020 年 10 月 13 日
（3）株式譲渡日（予定） 2021 年　1 月　6 日

今後の見通し

当期の連結および当社個別業績に与える影響については詳細判明次第開示します。

05

参考資料

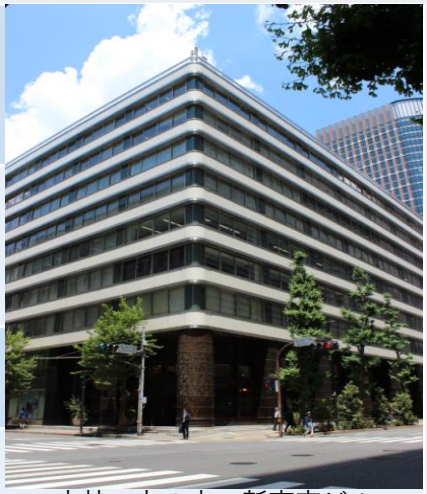
2021年3月期 第2四半期

参考資料

1. 会社概要
2. 西華産業の歩み
3. 国内ネットワーク
4. 海外ネットワーク
5. 業績の推移
6. 決算概要の推移
7. 経営指標の推移
8. ＥＳＧの取組み
9. 株主還元 配当

1. 会社概要

社　　名	西華産業株式会社（英名：SEIKA CORPORATION）
本 社 所 在 地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目３番１号
設　　立	１９４７（昭和２２）年１０月１日
代　表　者	代表取締役社長　櫻井 昭彦
資　本　金	６７億２８百万円
従 業 員 数	９７１名（連結）３１２名（単体）　　2020年3月末現在
主 な 事 業 内 容	各種プラント、機械装置・機器類、環境保全設備、 電子情報システム機器類の販売および輸出入
事　業　所	国内：本社、大阪支社、福岡支店、広島支店ほか　　全１９拠点 海外：台北支店、ソウル支店、シンガポール支店ほか　全　４拠点
関 係 会 社　拠 点	国内：　９社　　海外：　１７社 国内拠点：３２拠点　　海外拠点：２２拠点


本社：丸の内　新東京ビル

2. 西華産業のあゆみ①

1947.10　旧三菱商事株式会社の解散に伴い、同社 関係者が門司市（現 北九州市門司区）に資本金195千円にて当社設立

↓

1948～1951　日本各地に事務所設立（長崎、福岡、大阪、広島、東京、高松）

↓

1961.10　株式を東京証券取引所第一部に上場

↓

1974.01　ドイツ（デュッセルドルフ）に現地法人 Seika Sangyo GmbH を設立

↓

1983.11　ドイツに（株）鶴見製作所との合弁会社 Tsurumi(Europe)GmbHを設立

↓

1994.04　アメリカ（ロサンゼルス）に現地法人 SEIKA MACHINERY INC.を設立

↓

2000.07　韓国（ソウル）にソウル支店開設

↓

2001.08　登記上の本店を北九州市小倉北区から東京都千代田区へ移転

↓

2004.01　中国（上海）に現地法人西曄貿易（上海）有限公司を設立

↓

2005.04　日本ダイヤバルブ株式会社を子会社化

2. 西華産業のあゆみ②

2010.02　株式会社竹本を子会社化

↓

2012.01　シンガポール支店を開設

↓

2012.04　西華デジタルイメージ株式会社を設立

↓

2012.12　タイ（バンコク）に現地法人Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.を設立

↓

2015.02　タイ（プラチンブリ）に現地法人Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.を設立

↓

2015.05　名南共同エネルギー株式会社を設立

↓

2016.03　敷島機器株式会社を子会社化

↓

2019.01　ベトナム（ホーチミン）に現地法人SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITEDを設立

↓

2019.12　敦賀事務所を開設

↓

2020.01　Obart Pumps（Holdings) LimitedおよびObart Pumps LimitedをTsurumi (Europe) GmbH を通じて子会社化

↓

2020.10　セイカダイヤエンジン株式会社を設立

3. 国内ネットワーク

●西華産業
東京（本社）、大阪、札幌、室蘭、横浜、名古屋、四国、岡山、敦賀、
福山、広島、東広島、徳山、山口、福岡、北九州、大分、延岡、長崎

●子会社・関連会社

日本ダイヤバルブ
東京（本社）、大阪、名古屋、岡山、北九州

東西実業　東京

竹本　神戸（本社）、高砂、三原

エステック　東京（本社）、大阪、つくば

テンフィートライト
東京（本社）、大阪、高松、福岡

日本エゼクターエンジニアリング
大阪（本社）、和歌山

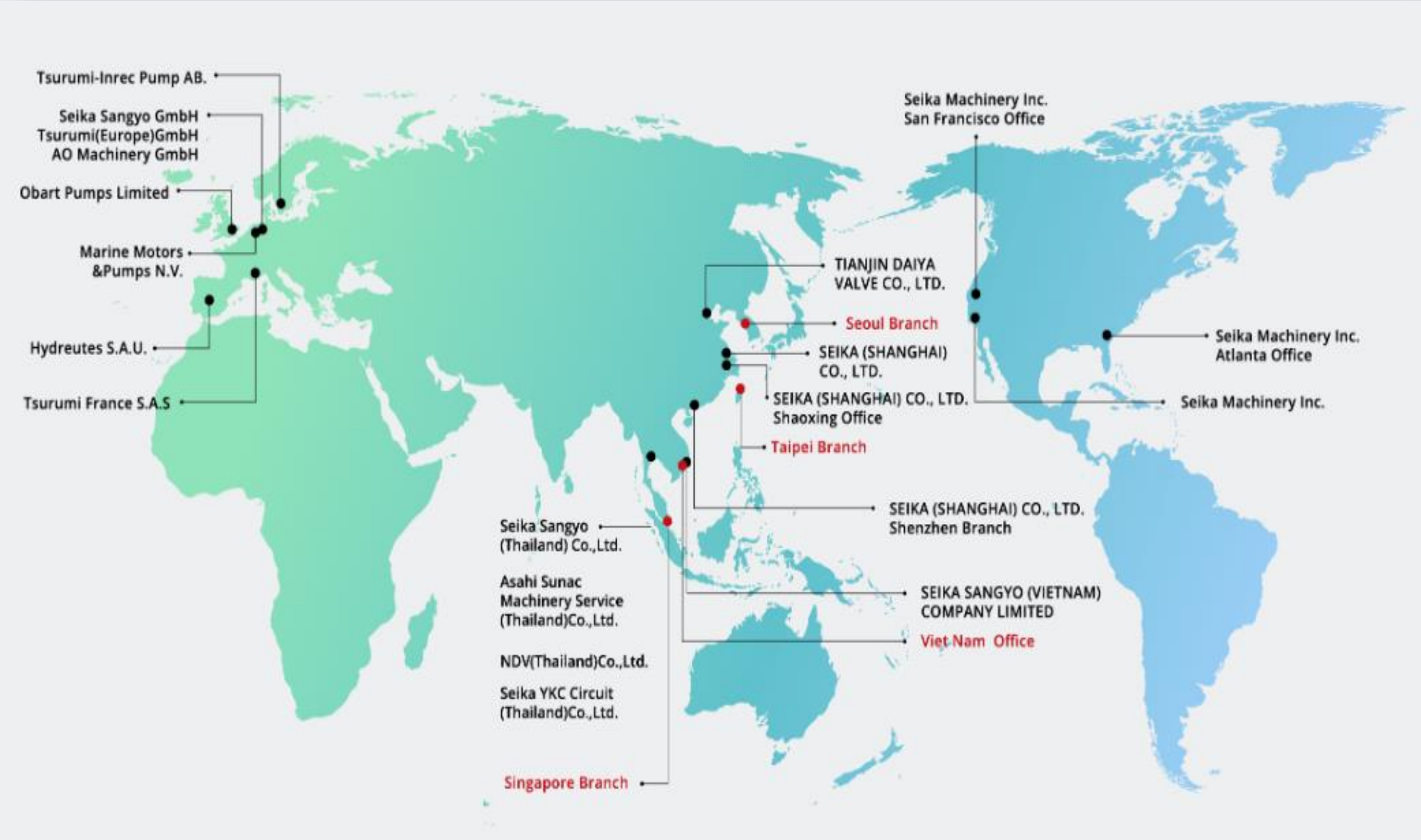
西華デジタルイメージ　東京

名南共同エネルギー　知多

敷島機器
北海道札幌本社 ほか北海道10拠点

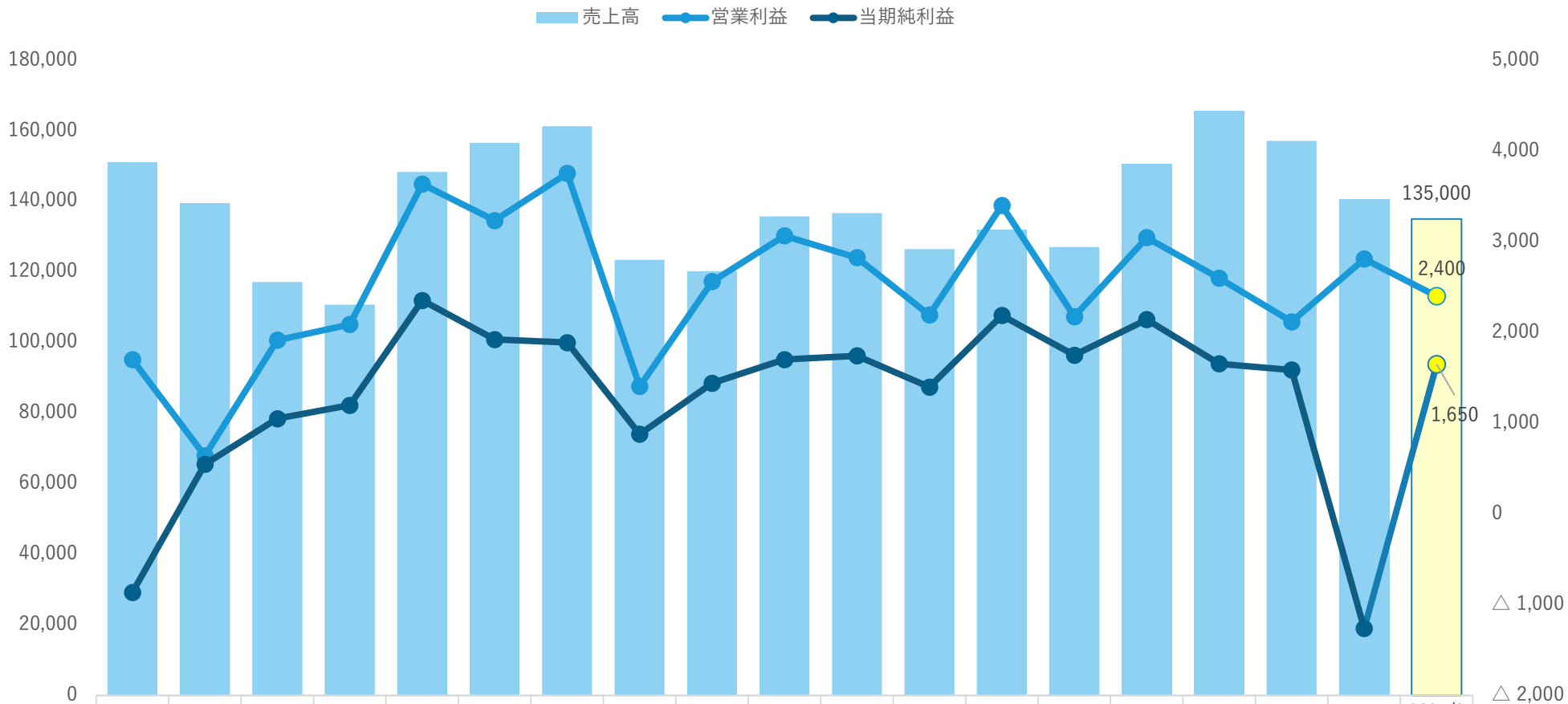
セイカダイヤエンジン
東京本社
東北、関東、中部、近畿、九州地区
全国25拠点

4. 海外ネットワーク


Tsurumi-Inrec Pump AB.
Seika Sangyo GmbH
Tsurumi(Europe)GmbH
AO Machinery GmbH
Obart Pumps Limited
Marine Motors
&Pumps N.V.
Hydreutes S.A.U.
Tsurumi France S.A.S
Seika Machinery Inc.
San Francisco Office
TIANJIN DAIYA
VALVE CO., LTD.
Seoul Branch
SEIKA (SHANGHAI)
CO., LTD.
SEIKA (SHANGHAI) CO., LTD.
Shaoxing Office
Taipei Branch
Seika Machinery Inc.
Atlanta Office
Seika Machinery Inc.
SEIKA (SHANGHAI) CO., LTD.
Shenzhen Branch
Seika Sangyo
(Thailand) Co.,Ltd.
Asahi Sunac
Machinery Service
(Thailand)Co.,Ltd.
NDV(Thailand)Co.,Ltd.
Seika YKC Circuit
(Thailand)Co.,Ltd.
SEIKA SANGYO (VIETNAM)
COMPANY LIMITED
Viet Nam Office
Singapore Branch

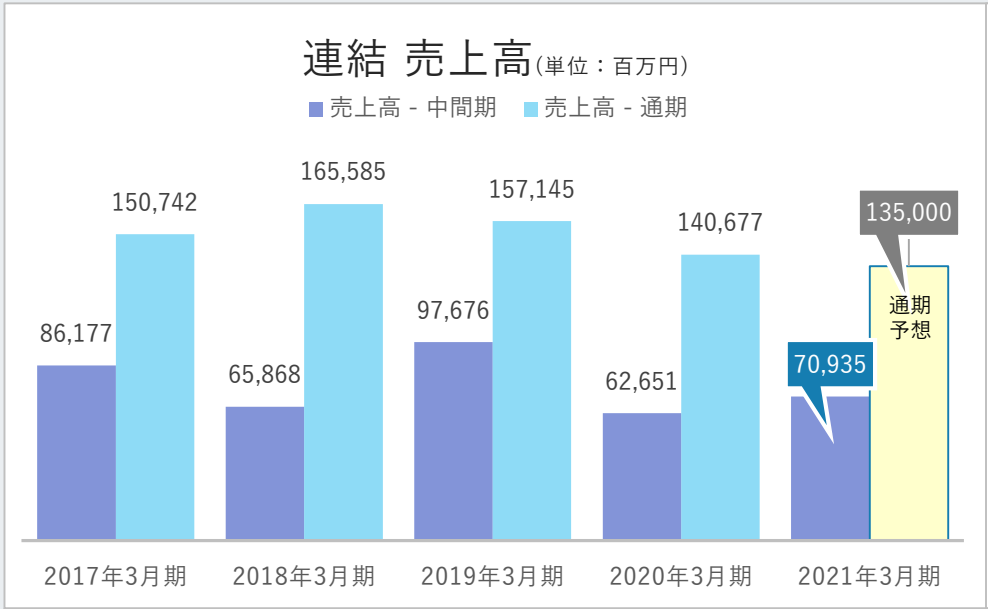
5. 業績の推移

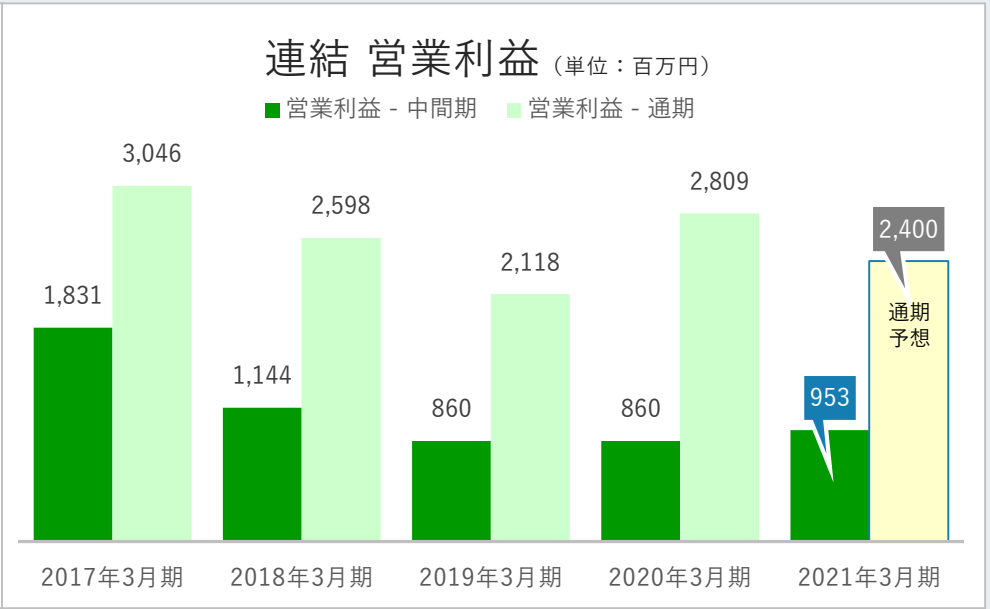
連結 売上高・営業利益・当期純利益の推移

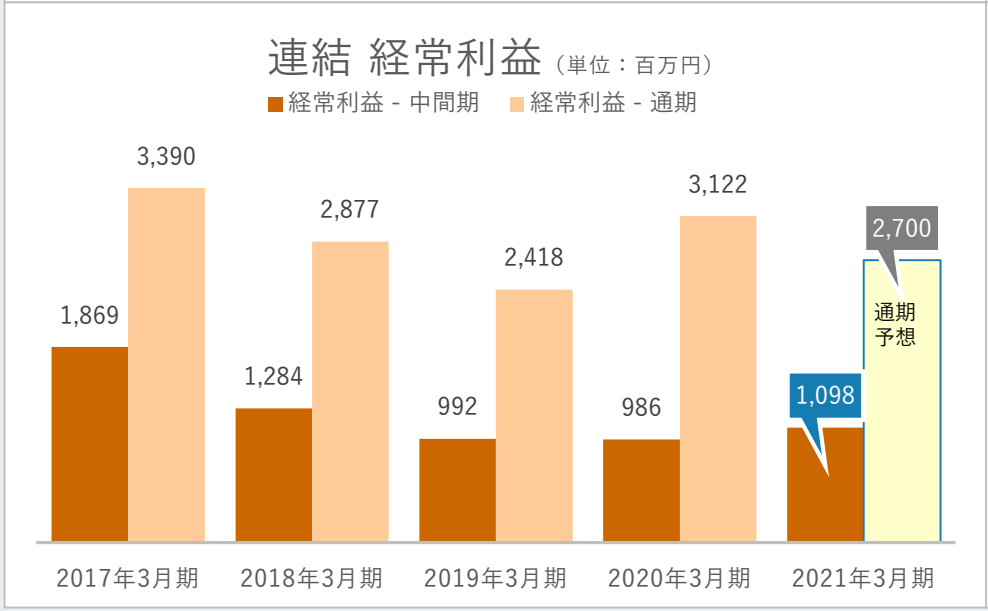


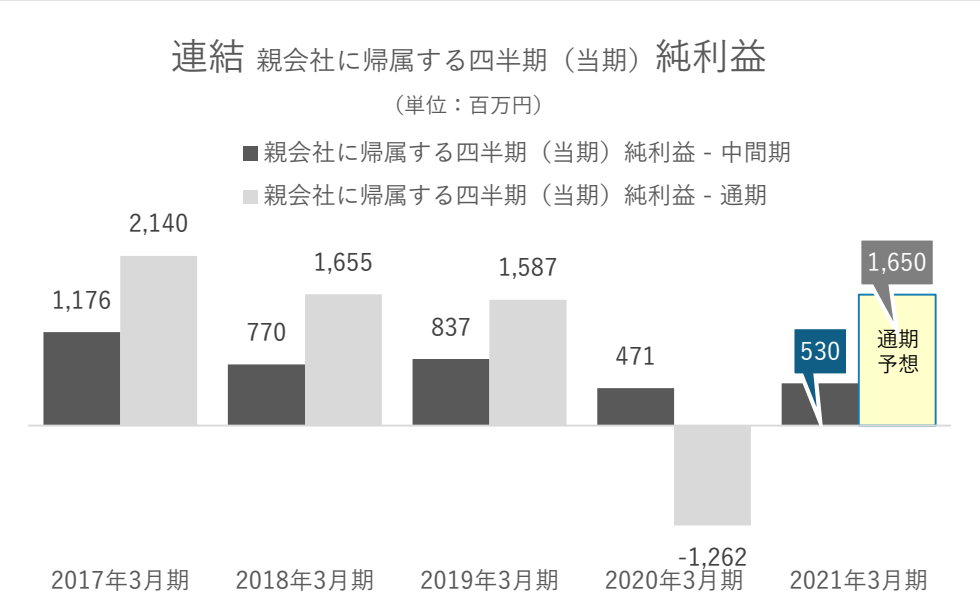
	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3 予想
売上高	151,120	139,519	117,197	110,727	148,307	156,588	161,261	123,394	120,243	135,717	136,670	126,487	132,033	127,101	150,742	165,585	157,145	140,677	135,000
営業利益	1,702	641	1,916	2,088	3,634	3,234	3,754	1,406	2,561	3,065	2,824	2,193	3,400	2,174	3,046	2,598	2,118	2,809	2,400
当期純利益	△ 866	548	1,051	1,198	2,353	1,922	1,889	879	1,441	1,702	1,743	1,399	2,188	1,750	2,140	1,655	1,587	△ 1,262	1,650

6. 決算概要の推移

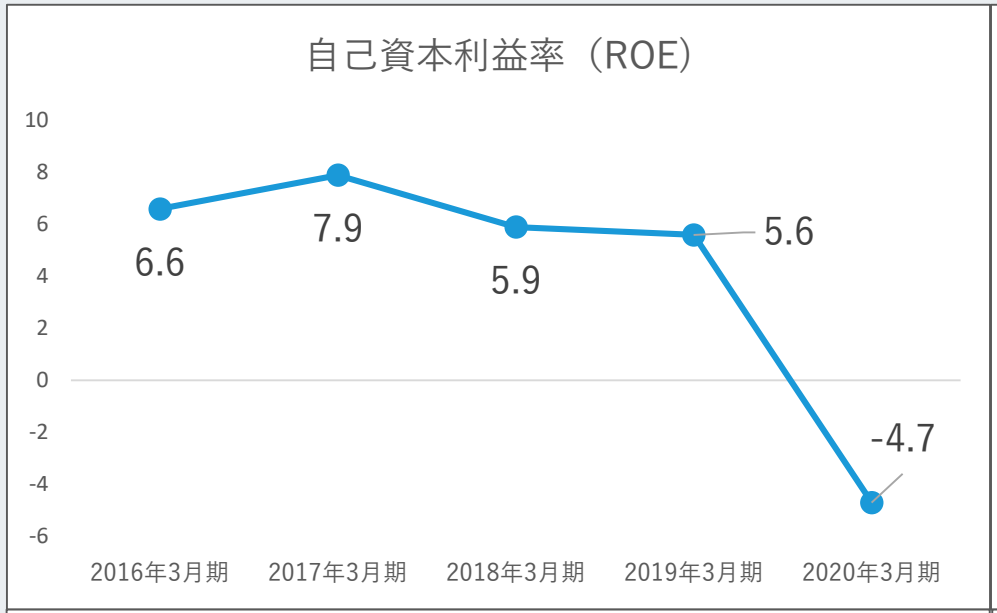

連結 売上高(単位：百万円)
売上高 - 中間期
売上高 - 通期
86,177
150,742
65,868
165,585
97,676
157,145
62,651
140,677
70,935
135,000
通期予想
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期
2021年3月期

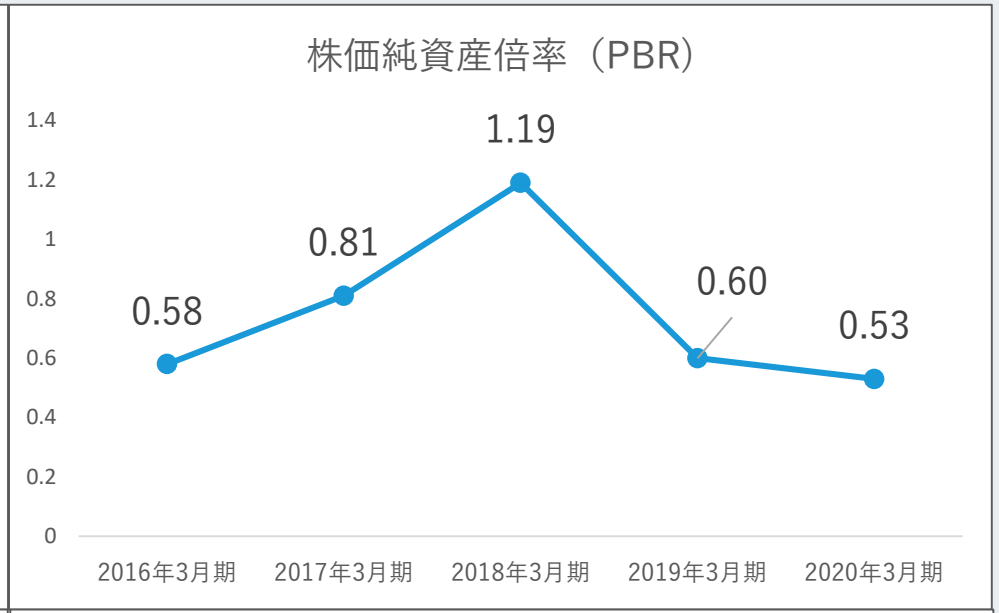

連結 営業利益 (単位：百万円)
営業利益 - 中間期
営業利益 - 通期
1,831
3,046
1,144
2,598
860
2,118
860
2,809
953
2,400
通期予想
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期
2021年3月期

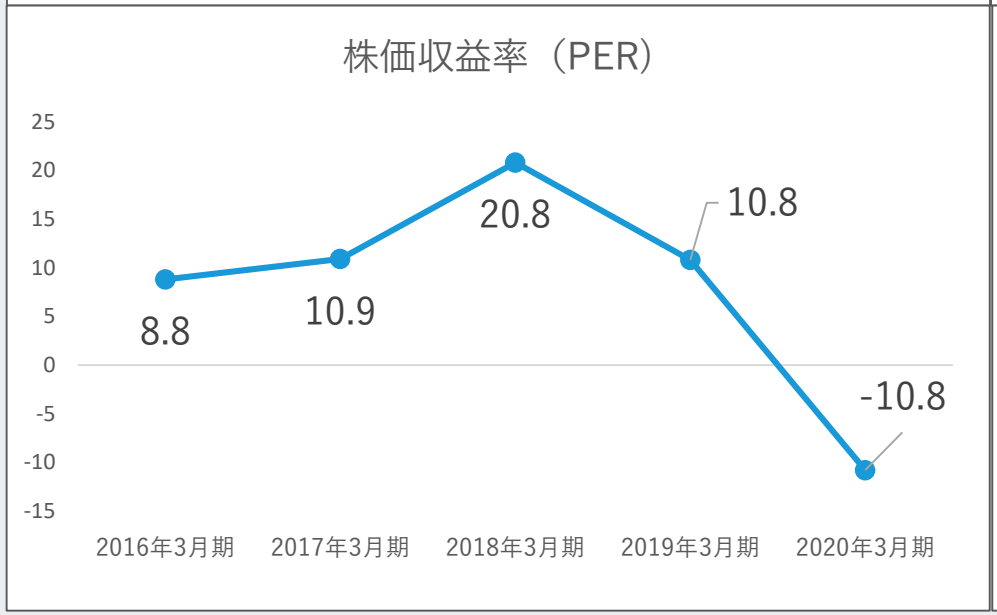

連結 経常利益 (単位：百万円)
経常利益 - 中間期
経常利益 - 通期
1,869
3,390
1,284
2,877
992
2,418
986
3,122
1,098
2,700
通期予想
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期
2021年3月期

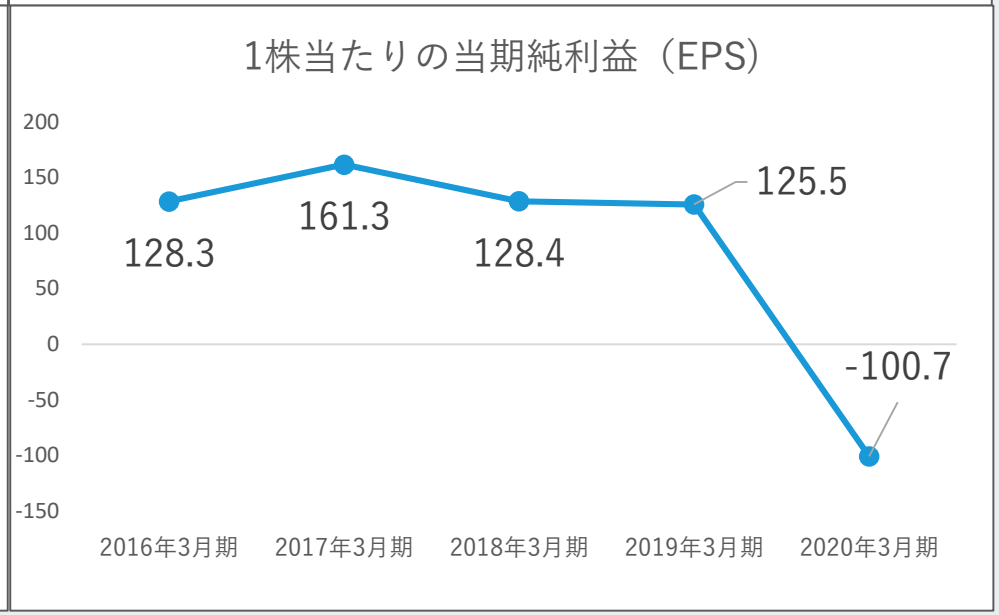

連結 親会社に帰属する四半期（当期）純利益
(単位：百万円)
親会社に帰属する四半期（当期）純利益 - 中間期
親会社に帰属する四半期（当期）純利益 - 通期
1,176
2,140
770
1,655
837
1,587
471
-1,262
530
1,650
通期予想
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期
2021年3月期

7. 経営指標の推移


自己資本利益率（ROE）
10
8
6
4
2
0
-2
-4
-6
6.6
7.9
5.9
5.6
-4.7
2016年3月期
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期


株価純資産倍率（PBR）
1.4
1.2
1
0.8
0.6
0.4
0.2
0
0.58
0.81
1.19
0.60
0.53
2016年3月期
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期


株価収益率（PER）
25
20
15
10
5
0
-5
-10
-15
8.8
10.9
20.8
10.8
-10.8
2016年3月期
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期


1株当たりの当期純利益（EPS）
200
150
100
50
0
-50
-100
-150
128.3
161.3
128.4
125.5
-100.7
2016年3月期
2017年3月期
2018年3月期
2019年3月期
2020年3月期

8. ESGの取り組み

環境型配慮商品の拡販 Environment

2020年3月期　環境配慮型商品 受注実績	受注件数	受注高
省エネ・省資源・高効率化	11,540件	877.4億円
公害防止	1,127件	57.5億円
リサイクル・リユース	812件	12.5億円
合計	13,479件	947.5億円

社会責任（働き方改革）Social

女性の活躍推進　女性総合職採用の強化　女性社員のキャリア形成支援　女性管理職の登用

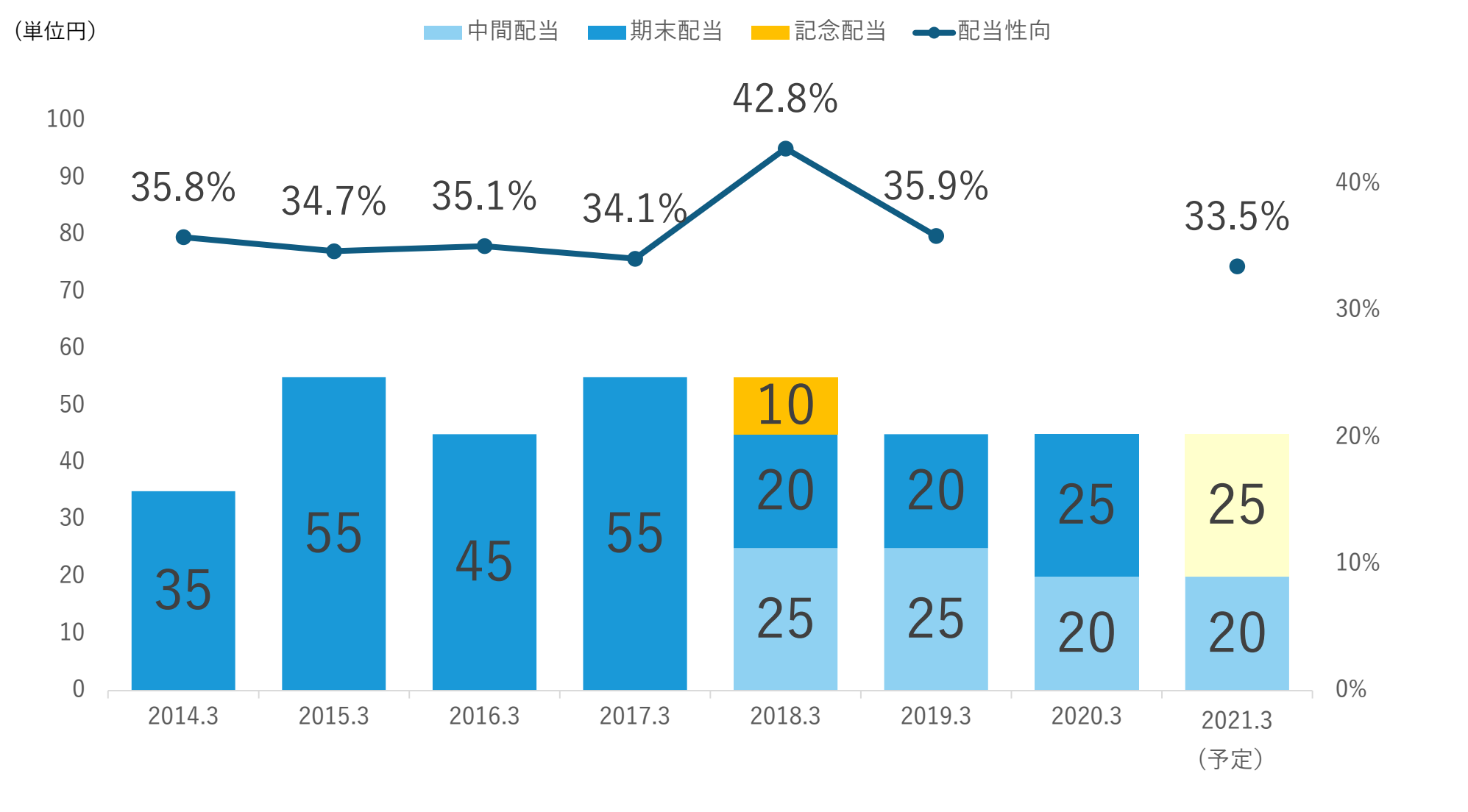
従業員の健康促進　プレミアムフライデー制度の導入　有給休暇の取得推進
インフルエンザ予防接種費用の会社負担

人材育成の取り組み　各種階層別研修　海外研修派遣制度

ガバナンス　Governance

コーポレートガバナンス・コードに基づいた施策
取締役会の実効性評価　実施
指名審査委員会、報酬審査委員会設置
英語での情報提供　招集通知の一部、決算説明会資料、FACT BOOK

9. 株主還元 配当



（※）2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合しております。影響する箇所につきましては、株式併合後の数値にて表記しております。

将来の予測に関する注意事項：
本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

IRに関するお問い合わせ先

西華産業株式会社　経営企画本部　企画部
Tel：03-5221-7117　Fax：03-5221-7130
E-mail：SMB002@jp.seika.com